



4/15～6/10 ファームステイ(農家民泊)が始まりました 修学旅行生民泊体験

例年行われている修学旅行生の民泊体験が4月15日から始まりました。

4月15日は香川県学校組合立三豊中学校から74人の生徒が村を訪れ、16軒の家庭が受け入れを行い、キャベツやレタスの苗植えなどの農業体験のほか、観光スポット巡りなどを楽しみました。

それぞれの修学旅行生は、1泊2日の南阿蘇を満喫し、離村式では受け入れ家庭と別れを惜しむ姿が見られました。

受け入れは、6月10日までを予定しています。



あそ望の郷くぎので行われた離村式

5/1 滞納税徴収率向上を期待 税務併任徴収事務辞令交付

阿蘇郡市7町村と県で行う併任徴収の辞令交付式が久木野庁舎で行われ、長野村長から、県北広域本部収税課特別対策班の職員5人に辞令が手渡されました。

辞令交付後、長野村長が「徴収率の向上にお力添えをいただき、実績を上げることができれば大変ありがたい」とあいさつ。

本年2月に阿蘇郡市7町村で併任徴収の協定を締結しており、今後は県と阿蘇郡市7町村の税務担当者を相互に派遣し、財産の差し押さえ、換価など滞納税の徴収強化に努めます。



長野村長から辞令を受け取る県北広域本部収税課職員

4/14 開業20周年を記念して 株式会社阿蘇ファームランド

株式会社阿蘇ファームランドが、本年開業20周年を迎え、同社の上席執行役員管理本部長の下村悦夫さんと、管理本部人事・渉外センター長の豎山裕史さんが、長野村長へのあいさつと、村への寄付のため、久木野庁舎を訪れ、長野村長から、感謝状が贈られました。

同社は、旧長陽村が企業誘致し、平成7年4月に開業したもの。

下村本部長は、「阿蘇ファームランドは、これからもお客さまに健康と感動を与えることのできる施設、地域社会に更に貢献できる企業であり続けるため努力してまいります」とあいさつされました。



寄付を手渡す下村さん（中央）、豎山さん（右端）と長野村長

4/22 元気で楽しい学級で勉強を 村高齢者学級開講式

「平成27年度南阿蘇村高齢者学級開講式と第1回南阿蘇村高齢者学級」（学級長 佐藤多可雄さん 中松一）が久木野総合センターで開催されました。

村内老人クラブ会員（60歳以上）の175人が出席し、佐藤学級長が、全国老人クラブのモットーである「健康・友愛・奉仕」について「出席している皆さんが健康ということは最高の宝、近所の人や同級生に高齢者学級で会おうと言える幸せ、皆さんが力を合わせ、地域の困っている方に手を差し伸べ、声を添えることが一番の奉仕だと思います」とあいさつ。

高齢者学級では、「わかりやすいイスラムの日常」と題したフリーライター津留今朝寿さん（高森町）の講演が行われました。



津留さんの講演を受講する出席者の皆さん

5/14 上手に摘み取ったよ

白水保育所イチゴ狩り体験

イチゴの実がなっているところを子どもたちに見てもらい、いい思い出を作ってもらおうと、白水保育所の年長・年中児44人の園児が「南阿蘇ふれあい農園」でイチゴ狩りを体験しました。

同農園の田尻徹さん（一関一）が毎年この時期に白水保育所の園児を招待しているもので、園児たちはひのしずくなど5種類のイチゴが実るハウスに入り、田尻さんから一人ずつパックを受け取ると、大きな赤い実をつけたイチゴを摘み取り、きれいに水で洗うと、友達同士見せ合ったりしておいしそうにほおばっていました。中には、食べ終わると何度も摘み取りに行く園児もいました。



おいしそうなイチゴを見つけて摘み取る園児たち

5/17 登山ガイドと一緒に楽しく山開き

第9回烏帽子岳山開き登山

今年で第9回を迎えた「烏帽子岳山開き登山」（主催 村観光協会）が開催され、県内外から登山愛好家が参加し、阿蘇五岳の一つ烏帽子岳（1,337メートル）の頂上を目指しました。

今年は、約150人が参加。天候にも恵まれ絶好の登山日和となり登山者のペースに合わせた4つのグループに分かれ、池の窪園地を午前9時30分に出発。片道6キロ、高低差550メートルの道のりを登山ガイドと歩き、火山灰の影響が心配されたミヤマキリシマも美しい花をつけ満開を迎えており、「とても綺麗でよかった」と参加者の目を楽しませていました。



登山をしながら足を止めて写真を撮る参加者たち

5/7 旧村の発展に多大な貢献

故 山室 忍さん（白川）

叙位伝達式が久木野庁舎で行われ、故山室忍さん（白川）が従五位の位階を授与されました。

故山室さんは、昭和34年に旧白水村議会議員に当選されたのを振り出しに、昭和43年に旧白水村長に当選。昭和62年5月までの間、議員3期、村長5期の永きにわたり、旧白水村の自治の確立と振興発展に多大な貢献をされたことが認められての授与となりました。

遺族代表で出席された山室昭憲さん（白川）は、「これは、旧白水村民に与えていただいたものだと思います。神前に供えて報告したいと思います」とあいさつされました。



遺族の山室昭憲さん（左）と長野村長

5/14 願いが叶い初泳ぎ

両併小学校プール開き

村内小中学校で最も早いプール開きが、両併小学校（後藤利恵子校長）で、全校児童38人全員が参加して行われました。

梅雨の影響を受け水泳の授業が減ることを考慮して毎年早目に行われるもので、当日までは悪天候のため、延期も予想されましたが、午後からは水温も上がり、児童たちの願いが叶って、プールに入ることができました。

開会で後藤校長が、「プールに入りたいですか？」と児童に尋ねると、「はい！」と全校児童が一斉に返事をしていました。

児童たちは、プールサイドからゆっくり体を水につけていくと、「冷たい！」と歓声が上げていました。自由時間になると、早速泳ぎ回る児童もいました。



下級生をおんぶしてプールを歩く上級生の児童